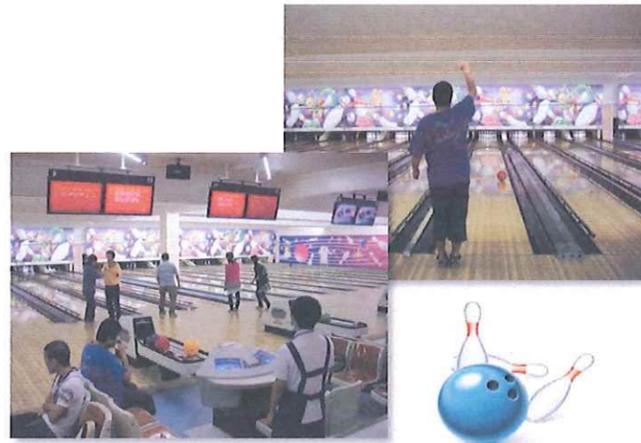


## 招待ボウリング

6月・7月に高尾スターレーン様より、ご招待がありボウリングに行ってきました。人気の行事の為、毎年参加者も多く笑顔いっぱいのボウリングになりました。利用者さんに感想を聞くと「楽しかった!」「また来たい!」と大満足の様子でした。



## 自主製品あれこれ



防災委員会より  
防災委員長 関戸 秀人  
9月10日に八王子いちちょうの会の合同避難訓練を行いました、皆様のご協力が無事終わらせることができました。台風の影響もあって急遽、避難場所への移動を中止して室内での訓練になりました。ここ近年、世界的な異常気象や大型地震に見舞われ、いつ何時起こるか分からない災害に日頃から備える必要性を感じました。万が一に備え、今一度各ご家庭で避難場所や非常用の備品等の確認をお願いいたします。  
※いちちょう工房そらでは防災用のパンの缶詰を1缶400円にて販売しております。  
詳しくはいちちょう工房そらまで。Tel 042-627-0079

いちちょう工房さんご家庭で作る手拭いは、藍染を手作業で行っているため、すべてが異なる模様となり、とても味わい深い製品になっています。店頭では包装されているため分かりにくいですが、ぜひ広げてみて模様をご覧ください。きっとお気に入りの柄に出会えると思います。

販売価格 617円(税込)

道の駅滝山、ワークポートおよびJRかてかてなどでお求めいただけます。

お問い合わせ tel 042-651-5717 いちちょう工房さんご家庭

## 福祉ニュース

— 東田直樹さんのこと —

ご存じの方も多しと思いますが、23才の青年そして自閉症である彼は会話はできません。が、文字盤ポインティングによるコミュニケーションができます。昨年、NHK 特集番組「君が僕の息子について教えてくれたこと」は、何回も再放送され多くの方に驚きを与えました。私も職員から教えてもらい、初めて見た時は、驚きと羨望を覚えました。飛び跳ね、奇声を発し、常同行動をする彼が、内容が普通のこのコミュニケーションをどうして獲得できたのか?フト、自分は親としての努力が足りなかったのでは、と軽いショックも受けました。でも、その後ある人から彼は天才だと言う言葉を聞き、納得しました。彼の手による「自閉症の僕が飛び跳ねる理由」など、多くの著作は家族が読んで職員が読んで大参考になるものです。まだの方は、ぜひ一度お読みになってはいかがでしょうか。 文責 崎田京子

利用者さんとその家族に寄り添い、信頼される存在を目指します

平成27年10月(第13号)

発行 社会福祉法人 八王子いちちょうの会

〒193-0834 東京都八王子市東浅川町 666

TEL 042-673-8055 / FAX 042-673-8054

http://www.ichounokai.or.jp/

# いちちょう通信

## 第4回 すずかぜ祭



実行委員長 金子 努  
9月12日(土)『地域交流祭 第4回 すずかぜ祭』が盛大に開催されました。台風の影響が心配されましたが、晴天に恵まれ絶好のお祭り日和になりました。ステージでは毎年恒例のフラダンスやマジックの披露をしていただき、更には普段聞く機会がない迫力ある散田小町太鼓の演奏で盛り上がりました。また模擬店は全て完売し無料のポップコーンやわたあめも大好評でした。その他に、恩方育成園さんと露の会さんにも参加していただき色とりどりなお祭りになりました。改めて、このすずかぜ祭は地域の方々や職員のみならずのご協力があったの地域交流祭だと感じました。ありがとうございました。

## 全体研修

研修委員 金子 葵

7月17日(金) 明皇大学 吉川かおり教授を講師に迎え、平成27年度第1回法人全体研修が行われました。「事業所における合理的配慮について」を中心に、差別解消法などを講義して頂きました。内容も、今後私たちが仕事をしていくうえで、大きな意味を持つものだと思います。話も分かりやすく、とても参考になる充実した研修でした。



## 週末余暇活動

週末余暇担当 崎田 京子

第2回は、恩方市民センターでお好み焼きを作り・食べ、わくわくビレッジへ移動して軽体操を行いました。体育館では素足になれるので、ちょ～気持ち良くニコニコ顔がたくさん見られました。第3回は、山梨県北杜市にある白州・尾白の森 名水公園「べるが」に行きました。高尾駅⇨小淵沢駅間をゆっくりの～んびり各駅停車に揺られ、飽きずに車窓を眺めている方が多かったです。「べるが」では、暑さの中ズボンとくしあげ名水の池に足を付けて涼まれています。きっともう少しゆっくりまったりされたかった事でしょう。

## 各事業所の近況をご紹介

### ■ ケアホームアイビー

現在ケアホームアイビーでは、月に1度の外食会を行っています。利用者さんも普段アイビーでは食べられないようなメニューやデザートを楽しみ、『次はどこに行くの?』と職員へ聞くなど皆さんとても楽しみにされています。今後ともアイビーではこのような社会に触れる機会、普段なかなかできない経験の場を増やすことによって、利用者さんへの安全健康な生活の提供だけでなく、QOL向上に努めていきたいと思っています。



## 各事業所の近況をご紹介

### ■ いちよう工房 そら

利用者さんの「海が見たい」という希望から、7月3日(金) 小雨の降るなか鎌倉へ日帰り旅行に行きました。新江の島水族館では大きな水槽で色々な魚を見て海の雰囲気を感じ、イルカとアシカのショーを見て楽しみました。



そして鎌倉といえば…大仏です！初めて見る利用者さんは大きさにビックリし、大仏のマネをする方もいて楽しんでいました。

今回初の試みとして旅行に行かない方のために事業所を開所し、7名の利用者さんが作業に参加しました。今後も利用者さんのニーズに応じて対応してゆきたいと思えます。

### ■ いちよう工房 ゆぎ



7月9日(木)～10日(金)に一泊旅行に行きました。今回は普段旅行に参加できない方も参加できるように、作業所の車を使い宿泊先を相模原の藤野芸術の家にしました。1日目は相模湖の遊覧船スワン丸に乗船しました。初めての体験の方も居て歓声があがっていました。また景色を眺めていると大きな注連縄が見えてきて説明にて、縁結びと聞くと皆さん願いが叶うように祈っていました。その次は道の駅どうしてソフトクリームを食べ、藤野芸術の家



に泊まり一日の疲れを取りました。2日目は陶芸体験(手びねり)を行い、お皿かコップかどっちを作るか悩みながら悪い悪いの作品を作りました。お昼はバーベキュー場にて、とうもろこしを焼いたりカレー作りをしました。カレーの美味しそうな香りがしてくると、まだできないかなと見に来る利用者さんもいました。作業所に到着してから皆さん「楽しかった」「次の旅行が楽しみ」など楽しい旅行になりました。

### ■ いちよう工房 ぎんなんの家

ぎんなんの家では、施設建物となりの畑で野菜づくりをしています。毎日が夏野菜の収穫でとても忙しいのですが、食事に利用したり、保護者の方々にお配りしたりと、たいへん充実しております。とくにじゃがいもは大豊作で、5キログラムの種芋から50キログラム以上の収穫となり、ほかの事業所でお買い上げいただいたのも記憶に新しいかと存じます。おいしい野菜でみんなが笑顔になれる日々で、暑さなんかまけていません。



今回掲載されなかった事業所については、次号以降のいちよう通信で順次ご紹介していきます！